

# 『秋麗便り』 ～授業改善に挑む～



後志教育研修センター  
所長 長谷川 誠

先日、学習指導（授業改善）研修講座が終了しました。寿都小学校を会場に受講者と所員が集合して、熱心な研修が行われました。本講座は既に終了した校内研修講座（R4.6.1研修センターにて開催）と学習指導（授業づくり）（R4.6.14 岩内東小学校にて開催）講座と同様、講師は当センターの所員が担当しています。これは当センターの研修講座事業と調査研究事業とをタイアップして推進している関係です。

寿都小学校での研修内容は①板書型指導案による授業実践と研究協議、②授業改善の視点に関する講義、③受講者が抱えている授業改善の悩み等の交流の3コマで構成しました。

所員7名に加えて、受講者は初任段階教員が4人、10年目以下が3人、15年目以上が3人という、各学校で授業改善に取り組んでいる先生方が集まりました。教職経験年数が様々であることを踏まえて、ワークショップの時間では講師陣がグループ分けを工夫して、初任段階の先生方も大いに学ぶものがあったようです。特徴的な参加者の声をあげてみます。

## ①板書型指導案による授業実践と研究協議に関して、

○「板書型の指導案に指導者側が気をつけるべき視点が記載されていて良かった。また、授業もねらいにせまる工夫がされていて大変勉強になりました。単元計画が素晴らしい。授業はまた見たいです」

○「生徒をひきつけ、興味をひきつける課題の設定が、全員をゴールに導く。教師が話をしすぎないで、生徒同士で考えさせて、全体を進行していく。重要な部分で取り上げたり、発問をする。とても、良い刺激を受ける授業でした。今回の授業者のような高いレベルをいきなり目指すのではなく、少しずつ前へ進んでいきたい。講師の実践を参観させていただく機会はすごく良い学びになります。これからも是非よろしく願います」

## ②授業改善の視点に関する講義に関して、

○「改善チェックシートは大変ありがたいです。自分の授業を考えたり、振りかえるときに大いに活用したくなりました。PDCAサイクルを通して授業改善を行い、授業力の向上を図っていききたいと思います」

○「講義では迷いがちになってしまう全体交流について見直しできるチェックリストが提示され、自分の授業改善に生かせると思いました」

コロナ感染症対策が依然として厳しい中、会場を提供していただいた前田校長をはじめ寿都小学校の職員の方々に感謝申し上げます。更には当センター所員1年目でたくさんのお話を盛り込んだ授業実践を提供してもらいました千葉慎也先生はお疲れ様ですと労いの言葉を送りたいと思います。



結びになりますが、この度、当センターでは、教職員の授業力向上をねらいとして後志管内の教職員が日常実践している指導案や略案、授業づくりのコンテンツなど集めた『指導案バンク』を作成しました。指導案コンテンツの閲覧方法は10月初旬に各学校にご案内致します。